

浄泉寺に贈られた白い彼岸花の植え付け

平成27年6月20日

6月20日、同朋の会会員25名により、大分県中津市在住の瀧さんから贈られました白の彼岸花の球根400個を植えました。

これは1昨年に河北新報に掲載された一つの記事がきっかけでした。その内容は、3.11東日本大震災に遭った被災者の方々を慰める意味で、瀧さんのお手元にあった球根をお分けしたいとのことでした。

その記事を見た檀家の方がご住職にお見せしましたら、ご住職が「それでは」と瀧さんに電話をいれたところ「今年は無理でも来年でも何とかしたい」とのお返事をいただいたのでした。そして今年の5月、瀧さんから連絡をいただき400個にも及ぶ球根が送られて来たのです。

そこで毎朝のお茶飲みのつどいの中で、ご住職からお話があり「同朋の会で植え込みをしたらどうだろう」ということになり、毎日来られる同朋の会会長も「会では毎月20日に定例の集会を開催しているので、ちょうど良いのでその日にやりましょう」ということで、急遽行事に組み込まれました。

また、家にも赤の彼岸花があるという役員の内田さんから80個ほどの球根も加わり、瀧さんの白と内田さんの赤を浄泉寺東側の内川沿いの土手に植えさせていただきました。

震度6強、6弱の地震に遭い、暗くなりがち私たちの心に一筋の光が射した様に思えます。瀧さんには心から厚く御礼申し上げます。我々真宗門徒にとっては「浄土真宗の宗旨」「親鸞聖人の教え」に結びつくところがあるように思えます。

なんやら「岩出山の名勝になるかも」と思うと、元気になって秋が待ちどおしいですね。



作業を進める同朋の会会員



植え込みした内川沿いの土手の前で記念写真